

北海道での溪流釣り必須アイテムといえば『クマ避けスプレー』。今年もクマの目撃情報が多く、私が通っている釣り場も出没注意の立て看板が増えてきており、いつか遭遇してしまうのではと戦々恐々としています。釣行時には肌身離さず持ち歩くこのスプレー、内容物が特殊なためなのか使用期限があるので点検したところ、ちょうど来月で使用期限切れの記載あり。

今回ギリギリのタイミングで気付くことができて良かったですが、今後は毎回の釣行前点検を怠らないよう万全を期したいと思います。

札幌営業所(所長:清水 壮次郎)



世界の拠点から
-From the base in the world-



名古屋に戻り1年以上経ちました。元々関西に居た時も実家のある愛知県までは戻る事があり、20年前とは変化しているなど感じる事も多々ありましたが、静岡まではあまり行くケースも無かったので新鮮に感じる事が多かったです。新東名高速もほとんど走った事が無かった為、サービスエリアも初。静岡は沼津を筆頭に海産物が有名で、サービスエリアNEOPASA静岡下りに入って、海鮮丼・家族庵を見つけました。ここで『駿河湾産静岡まるごと丼』を注文。SAの場合、メニューの写真と実際に提供される料理とのギャップが心配になりますが、写真通りの美味しそうな海鮮丼ができました。桜エビ、しらす、まぐろ、ネギトロの4色にだし巻き卵が添えられた見た目も良く、味も良い海鮮丼でした。

次回行く事があれば、次は『贅沢海鮮丼』にチャレンジしてみようかと思います。



中日本営業所(部長:藤谷 弘行)

皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は千葉市花見川区の青木昆陽甘藷試作地(あおきこんようかんしょさくち)を紹介いたします。

青木昆陽は江戸時代中期の蘭学者で、甘藷(サツマイモ)の普及に関わった人物です。

享保17年(1732年)に起きた享保の大飢饉で日本全土に被害がもたらされましたが、薩摩ではすでに伝来していた甘藷(サツマイモ)のおかげで深刻な餓死者は出なかったと言われています。救荒作物として効果があると知った青木昆陽が、徳川幕府8代将軍・徳川吉宗に進言し認められ、甘藷試作地として下総国千葉郡馬加村(しもうさのくにちばぐんまくわりむら、今の千葉市花見川区幕張)、小石川薬園など3か所が選定されたそうです。

今回私が見てきたのはそのうちの1か所、試作地は京成線幕張駅のすぐ近くにあります。ここは享保20年(1735)、青木昆陽によってサツマイモが試作されたことを記念して県の史跡に指定されている場所です。史跡の周りは住宅や商店が多く、一見して気が付かなさそうなどころにありました。私も以前に徳川吉宗の伝記に青木昆陽の名前が挙がっており、知っていたのでたまたま気付いた次第です。

日本全国で甘藷(サツマイモ)が、一般的に栽培されるようになったのは、この甘藷先生こと青木昆陽のおかげですね。

東日本営業本部(部長:高橋 鉄夫)

福岡で三大うどんチェーンといえば、『ウエスト』『資さんうどん』『牧のうどん』の3店が挙げられます。今回は、その中の一つである『ウエスト』をご紹介します。

ウエストは1966年に福岡で創業し、現在では九州を中心に関東地区を含め、グループ全体で約200店舗を展開する外食チェーンです。うどんや焼肉のイメージが強い企業ですが、近年では生そば事業にも力を入れており、多くのお客様から支持を集めています。

関東への進出は2004年9月、東京都町田市への出店が始まりでした。現在では関東地区に23店舗を展開しており、福岡の味を首都圏へ届けています。最近では『資さんうどん』の関東進出が大きな話題となりましたが、ウエストも以前から着実に店舗網を広げ、多くのお客様に親しまれています。

現在の西日本物流センターの近くには『生そばウエスト』があり、車で約3分ということもあって、私も昼食によく利用しています。お気に入り、かき揚げ丼と盛りそば2玉のセットや、盛りそば3玉です。生そばは3玉まで同一価格という嬉しいサービスがあり、ボリューム・価格ともに満足度の高い一品です。もちろん、ウエストの主力商品であるうどんもおすすです。定番の肉うどんやごぼう天うどんは、やさしい味わいの出汁と福岡ならではのやわらかな麺が楽しめ、地元で長年愛され続けています。

福岡へお越しの際は、ぜひ福岡三大うどんチェーンの一つ『ウエスト』で、地元ならではの味をご賞味ください。

西日本営業所(部長:木下 敦裕)

8月17日はインドネシアの独立記念日です。そのため、毎年インドネシア人はこの日に向けていろいろな行事、お祝いを行っています。

各町内会では、7月の初めから子供のパレードの参加申し込み、大人向けの試合(例えばバドミントン、卓球、ミニサッカー、お母さん料理コンテスト、お父さん向け綱引き大会など)の申し込みが始まっています。子供のパレードは当日8月17日に行われます。パレードでは、できるだけ面白い衣装で歩いたり、自転車に乗ったりして住宅団地内を回ります。パレード衣装は、1番面白くて目立っているものが評価され優勝候補になることもあります。試合の場合も、同じ様に決勝戦まで行い、優勝者を決めます。

メインイベントは当日の夜に用意されています。ステージでの町内会長のスピーチ、そしてパレードや試合の優勝者が発表されます。さらに住民たちはステージで歌ったり踊ったり、ライブ演奏をしたりします。お母さんたちは、みんなのために料理を作って、ステージ辺りで食事をしながらライブ演奏や踊りなどを観覧しています。夜のイベントは通常18時から24時まで行い、みんなで楽しんでいます。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

～海風を浴びながら～

梅雨が明け、7月の小暑、大暑を迎えた蘇州では、いよいよ日差しがジリジリ。名古屋にも負けない(?)蒸し暑い夏の本番です。

汗をかいた後のビールがおいしい季節ですが、ビールで有名な山東省青島市では、7月中旬から約3週間にわたって青島国際ビール祭り(青島国際啤酒節)が開催されています。ドイツのオクトーバーフェストをモデルに1991年にスタートしたこのイベントは、今では世界最大級のビールの祭典といえるかもしれません。地元の青島ビールはもちろん、世界各国の銘柄が楽しめます。そして青島のもう1つの名物である、新鮮な海鮮料理と合わせて味わうビールは格別です。牡蠣やホタテ、アワビ、エビ、イカなどがビールの旨さを一層引き立てます。

音楽ライブやダンス、民族芸能のステージが連日繰り広げられ、夜には花火が夏の海辺を彩ります。美しい海岸に位置する青島の街並みはドイツ風建築が残り、中国でも有数の観光地です。歴史散策と海辺の景色、そして夜は冷えたグラスを片手に海風を浴びながらビール祭りで飲み比べ。今年の夏は週末を利用して青島の知人を訪ね、久しぶりに啤酒節にくり出してみようと思います。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

～70周年記念式典から沖縄・東京の旅へ～

7月はイベント盛りだくさんの月となりました！

まず、7月1日に名古屋で開催された弊社の創立70周年記念式典に出席しました。久しぶりに日本のイベントに参加しましたが、やっぱり日本のおもてなしは素晴らしいですね。お料理の味はもちろん、盛り付けまでもとてもキレイで、改めて日本らしさを感じました。会場には遠方からもたくさんの方々が来られていて、私自身も新しいご縁や人脈を広げることができました。式典で特に印象に残ったのは、やっぱり江尻会長の熱いスピーチです。最後には私まで涙が出そうになるほど、胸に残る素晴らしいスピーチでした。

その後、私は実家のある沖縄へ5年ぶりに帰りました！16歳の息子もアメリカから1人で沖縄まで来て、無事に合流することができました。息子に

としては7年ぶりの沖縄。小学生の頃の友達と再会したり、日本の祖母の家に泊まって海で泳いだりと、沖縄の田舎ならではの夏を楽しみました。

最後は、息子にとって初めての東京へ。電車に乗ったり、神社へお参りしたり、日本でしか買えないスケートボードを購入したりと、最高の夏の思い出ができたと思います。私も久しぶりに家族に会い、沖縄の海へ勢いよく飛び込んだり、素潜りをしてサンゴを見たりと、年齢を忘れて思いきり楽しみました！

滞在中は天気にも恵まれ、私たちが東京へ移動した翌日から台風が近づき、一気に悪天候に。本当に危機一髪で、ラッキーでした！海でもたくさん遊び、お参りもできたので、2026年後半も頑張れそうです。やっぱり休暇は必要ですね。気持ちはずっかりフルチャージ！ただ、遊びすぎて体の充電は少し減った気がします(笑)。

KCS(アメリカ)(GM:Ayano Donnelly)

～グリーン・エコノミー(環境に配慮した経済)～

環境問題は世界中で非常に関心の高いテーマです。他の先進国と同様、シンガポールでも環境保全に向けた取り組みが行われています。政府は、未来の世代のために持続可能な社会を築こうと、数多くの施策を導入しています。

最近、あるホーカーセンター(屋台街や屋外フードコートのような施設)で、空のペットボトルを投入する大型の回収機を見かけました。その機械は2ドアの冷蔵庫ほどの大きさで、投入方法も分かりやすく表示されていました。空のペットボトルを正しく投入すると、1本につき10セントが還元される仕組みです。

この取り組みは比較的新しく、国内でまだそれほど多くは見かけません。今後はさらに普及していくことでしょう。空のペットボトルを機械まで持っていくには多少の手間がかかるため、最初は馴染みにくいかもしれません。しかし、いずれは当たり前の事として定着していくはずです。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

私たちは弊社の創立70周年記念式典に参加するため、日本を訪れるという素晴らしい機会に恵まれました。

旅の始まりは、日本で最も美しく歴史ある都市の1つ、京都でした。私たちは、伏見稲荷大社、金閣寺、清水寺といった名所を訪れ、祇園の伝統的な街並みを散策し、古き良き日本の雰囲気を楽しむことができました。

そして名古屋へ移動し、非常に特別な1日を過ごしました。午前中は『RUBIQUE SQUARE(ルービックスクエア)』を訪問し、興味深い体験をさせていただきました。バーチャルゴルフを体験したり、設備の整ったジムを見学したり、ピラティスでストレッチをしたりもしました。その後は、美味しいランチとデザートを楽しみました。午後には工場を訪れ、製造プロセスに込められた職人技、知識、そして情熱を目の当たりにしました。最先端の技術と熟練した手作業が融合している様子は、大変印象的でした。夜には、他拠点の同僚たちと夕食を共にしました。直接顔を合わせて親睦を深めることで、メールでのやり取りだけでは得られない、より強固な関係を築く素晴らしい機会となりました。

この旅のハイライトは、名古屋マリオットアソシアホテルの美しいパーティー会場で開催された、弊社の創立70周年記念式典でした。世界中から集まった社員やパートナーの皆様と共に過ごした、思い出深いイベントとなりました。旅の最後は、最も活気ある大都市の1つである東京で過ごしました。こちらでも様々な名所を訪れたり、ショッピングを楽しんだりしました。

今回の旅は、お祝い、学び、友情、そして日本の美しさの発見が見事に融合した素晴らしい体験となりました。このような特別な旅を経験し、創業70周年という重要な節目を共に祝う機会をくださった役員の皆様に、心より感謝申し上げます。

KIO(オランダ)(Marvin de Laat)